

製品説明書

【お薬の内容】



〈Kyowa-Gifu-Japan〉

ご使用に際して、必ずこの添付文書をお読みください。また必要な時に、読めるように大切に保管してください。

第2類医薬品

乗物酔い薬

(錠剤)

ティメル錠

ティメル錠は1日1回服用で、乗物の動揺や加速度によって起きる神経の興奮をしずめ、乗物によるめまい・吐き気・頭痛の発生をおさえたり、緩和します。車・船・飛行機などに乗る約30分前に服用すれば不快な乗物酔いから解放され、旅行や趣味などがいっそう楽しくなります。

【成分・分量】 本品1日量(1錠)中

成分	分量	働き
塩酸メクリジン	25mg	制吐薬
スコポラミン臭化水素酸塩水和物	0.25mg	鎮静薬
無水カフェイン	40mg	頭痛薬

【添加物】

サッカリンNa、乳糖、バレイシヨデンブン、ステアリン酸Ca、セルロース、青色1号を含有します。

【効能・効果】 乗り物酔いによるめまい・吐き気・頭痛の予防及び緩和

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

1 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください。

他の乗り物酔い薬、かぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、胃腸鎮痛鎮痙薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、アレルギー用薬等）

2 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

（眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがあります。）



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (5) 次の症状のある人。

排尿困難

(6) 次の診断を受けた人。

緑内障、心臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、日本語の添付文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
精神神経系	頭痛
泌尿器	排尿困難
その他	顔のほてり、異常なまぶしさ

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、日本語の添付文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談してください。

口のかわき、便秘、眠気、目のかすみ

用法・用量

下記の量を服用してください。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1錠	1回
7歳以上15歳未満	1/2 錠	(乗り物酔いの予防には乗車船30分前に服用してください。)
7歳未満の乳幼児	服用しないこと	

<用法・用量に関する注意事項>

- (1) 用法及び用量を厳守してください。
- (2) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 錠剤の取り出し方

下図のように、錠剤が入っているPTPシートの突起を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り取り出して服用してください。

(誤ってPTPシートをそのまま飲み込むと、食道粘膜に突き刺さるなどの思わぬ事故につながります)



- (4) 本品は水なしで飲めますが、かんだり口の中で溶かしますと苦味が出ますので、早めに飲み込んでください。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- (4) 分割された1錠の残りを使用する場合、きれいな紙に包み、外箱に入れて、2日以内に使ってください。
- (5) 使用期限の過ぎた製品は服用しないでください。

質問やコメント

本品について何かお気づきの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

消費者相談窓口: 協和薬品工業株式会社 お客様相談室
☎ 058-246-8771



受付時間 9:00～12:00・13:00～17:00 (週末、祝日を除く)

〔限定対応のお願い〕

〈Kyowa-Gifu-Japan〉

- (1) 電話相談の場合はしばらく日本語のみでお願いします。
- (2) 最新の日本語添付文書は、協和薬品工業株式会社のウェブサイト (www.kyowa-ci.co.jp) に掲載されています。

免責事項

- (1) 私たちはFDAのOTC医薬品規制に似たフォーマットを使いますが、これはFDAの下で承認されたOTC薬ではありません。日本の薬機法に従い、日本国内での使用が許可されていますのでご注意ください。
- (2) この英訳は製造元および販売元によって作成されましたが、日本語が正しい添付文書であり、参考資料として使用する必要があります。2つのバージョン間に矛盾がある場合は、元の日本語バージョンが優先されます。
- (3) この翻訳の提供者は、その翻訳の使用に起因すると思われるいかなる損害についても責任を負いません。
- (4) この英訳の商業目的の複製、出版などには使用しないでください。

(5) この英訳は最新改訂年月の添付文書の日本語版に基づいて作成されていますが、添付文書は随時改訂されるため、最新の訳ではない可能性があります。